



ウイングネット

ウイングネットで学習する生徒たち

埼玉県鴻巣市

KONOSU UCHIDA 塾

経済事情で複数教科の受講を諦める受験生・保護者のジレンマ ウイングネットの講座を細分化して講座単価を下げ、必要科目のみを提案したら受講数アップ！ 月謝単価も1.8倍に



内田 朋宏

代表取締役

1回の授業時間を短くし、授業回数を増やすとともに自習とセットに

以前は大手塾に勤務しており、責任者まで務めました。生徒との関わりが好きで漠然と「いつかは自分の塾をつくりたい」と考えていたことから2020年の10月に

独立しました。コロナ禍で世の中が大きく変わった時期です。開校当初は集客に苦労しましたが段々と口コミで集まり始め、最初に借りた場所が手狭になったことから昨年10月、現在の場所に移転しました。

小中学生にはグループ指導と個別指導、ウイングネット導入以前は高校生には個別指導のみ行っていました。授業は1コマ45分。一般的な個別指導と比べると約半分ですが、週1回80分の授業をするより、週2回45分行った方が成果は上がるの考えからです。また、授業時間を短くした上で授業内容をインプットとアウトプットに分けています。インプット授業は先生が単元のポイント説明や問題解説を行うテストや入試に必要な知識や解法を教える授業です。アウトプット授業では今まで習った問題が本当



に1人でできるかの再確認を行うため、先生の指示の下、演習を行います。解答に至るまでのプロセスを先生が確認しながら指導し、できていないところにのみ手を差し伸べる。「1人でできた」を体感できる授業となっています。勉強が苦手な子ほどアウトプットを疎



かにしがちなため、授業時間内でアウトプットの時間を取るようにしています。さらに「授業の前後は自習時間」とし、学習時間を確保するようにしています。45分だけのために塾に来るのはもったいないですし、送迎する保護者への配慮という意味合いもあります。

高校部の拡充のため映像教材を導入
自塾に合わせた利用ができる
ウイングネットは
何よりも魅力的だった

ウイングネットの導入は高校部の拡充のためです。もともと中学生がメインで高校受験が終ると多くが卒業していました。継続希望者にのみ個別指導で対応していた形で、戦略的に高校部をつくらなければなりません。昨年、当時の2年生が進級すること踏まえ、高校部の先行きを考えました。「推薦で大学へ行こう」というのが合い言葉でしたが、生徒たちはせいぜい週に1回、数学を1コマ取る程度。学校の数学は良いけど、他の科目が行き届かないという生徒が多く出ていたことや、大学受験指導に対応できる講師の数が限られているという問題がありました。このままでは予備校などに生徒が流れるのだからと不安に思っていた時、前職の先輩から映像教材を勧められました。ずっと対面で生徒を指導してきた人間なので映像には懐疑的でしたが、学生講師に聞くと皆

大学受験の勉強は映像授業を使っていたと言っています。ここまで育ててきた生徒たちが20分も30分も移動に時間をかけて通った先の予備校で映像授業を受けるなら当塾で導入しよう！と決心した瞬間でした。複数の映像教材を比較し、ウイングネットに決めた一番の要因は活用の自由度が高かったことです。映像教材を導入している他塾との差別化も必要ですし、自塾に合った使い方ができることは非常にありがたいと思いました。導入後は比較的スムーズに高校部の半程度がウイングネットに移行しました。体験の機会を設けたものの、参加者はゼロ(笑)。講師たちが自らの体験を語り勧めてくれたのが大きかったのでしょうか、説明だけでそのまま移行してくれました。難色を示す保護者は自身の受験経験をもとにしていないからだと思います。高校部の生徒たちは長子ばかりで保護者にとっても「初めて我が子が大学受験を経験する」ケースです。生徒たちが部活動を引退し受験勉強が本格化する頃、それを端で保護者たちが見ることで、また変わっていくと思います。映像へ移行した生徒、保護者にとっては個別指導と同程度の金額で複数教科受講でき、学習時間が増えるが喜んで受け取られています。基本的には塾で受講するように勧めています。自宅受講の相談も状況によっては受付けており喜ばれています。申し込みにあたっては少し工夫をしました。ウイングネットは講座内の映像の視聴可否を設定できるので、生徒一人ひとりに必要な科目を洗い出し、提案する方法を探りました。「この講座は必要ですが、こちらは不要です」と、あえ

申し込み方法にひと工夫で
月謝単価アップへ

不登校や学習が遅れがある子への
サポートに

て不要ものを明確に打ち出すことで提案した講座の重要度をご理解いただくようにしています。1講座当たりの価格も安価に設定しているため、複数講座の受講に繋がり、結果として月謝単価が上がりました。個別指導では必要だと思っても経済的事情から受講を諦めていたケースも多々あったのだと思います。試験前、試験後、長期休暇など、一人ひとりの学習状況や目標に合わせて計画を立て、足りないところを補うスタイルは大学受験にはとても向いているのだと思います。今後は英検、講座なども期間を決めて実施していこうと思っています。

ゆくゆくは小中学生にも広げて行きますが、当面はグループ指導と個別指導をメインに英検、対策等のサブ的な使い方になるでしょう。ただ、体調や対人関係等で学校に行けない小中学生が多く存在します。対人関係の場合は昼間の授業に来て個別指導を受けることもありま

すが、体調不良の場合は映像教材が最適です。体調の良い時に塾に来てもらい進捗管理をするといった方法です。個別指導だと5教科全部は経済的に難しいけれど、映像なら可能です。また、通信制高校から大学を目指す子への学びなど、そういう方々に



完全個別対応 Web授業
ウイングネット

●株式会社 ウイングネット
〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-14
TEL.03-3818-8454 wingnet@ichishin.co.jp